令和６年度

副業プロ人材活用支援プログラム応募申請書

【記載上の注意】

字数制限はありませんが、応募時はＡ４用紙片面４枚程度で作成してください。

フォント（字体・色・サイズなど）及び写真や図の使用は自由です。（解像度により見えなくなる場合がありますので、使用するフォントや写真等にご注意下さい。）

以下の要件に同意される場合はチェックをお願いします。

|  |
| --- |
|[x]  支援先に選定された場合、モデルケースとして事例をHP等に紹介されることに同意します。 |

１　申請者情報　※法人の場合は法人の代表者個人が支援対象者（申請者）となります。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申 請 者 | 会社名又は屋号 |  | 応募区分 | [ ] 　個人　　／　[ ]  法人 |
| 代表者名 |  | 生年月日 | 　　　　　　年　　　　　　月　　　　　　日 |
| 業種 |  | 従業員数 | 人 |
| ℡ |  |
| E-mail |  |
| 開業日/法人設立日 | 　　　　　　　　　　　　　　年　　　　　　月　　　　　　日 |

２　副業プロ人材活用で「解決したい課題」や「新たなチャレンジ」についてお答えください※複数回答可能

　　[ ] **販路開拓・営業**

[ ] **マーケティング**

[ ] **ホームページやSNSの企画・運用**

　　[ ] **海外事業**

　　[ ] **商品開発**

　　[ ] **新規事業開発**

　　[ ] **業務改善（DX）**

　　[ ] **人事・採用**

　　[ ] **広報・PR**

　　[ ] **その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**

３．「解決したい課題」や「新たなチャレンジ」について、「具体的な内容」を記入してください。

例）「販路拡大」　　現在の販売チャンネルは代理店ルートのみだが、直販およびECでの販売ができると事業拡大につながる。ここにプロの知見を導入したい

例）「新規事業開発」　　既存顧客１０００社に対し、プロ人材とともに新たな商品・サービスを開発（調達）し提供することで顧客に喜んでもらいたい。

例）「業務改善」　　管理部門の業務効率が悪いため、プロの視点で業務分析をし、またその業務が本当に必要なのか否かを精査して、新たな業務フローを確立したい。　　　　など

**【記入欄】**

|  |
| --- |
|  |